

ネイチャーセンターだより

ミユビシギ Sanderling

この季節、春国岱の第一砂丘(一番海側)の先端近くまで歩くと、波打ち際をちょこちょこ歩く鳥を見かけることがあります。

これはシギ・チドリの仲間で、越冬地への旅の途中に春国岱を訪れ、羽を休めているところです。

このミユビシギは、足の指が3本しかないことからこの名前がつきました。波が引けば、波を追いかけていき、寄せる波に追われるように岸へ駆けてきます。ちょこちょこ波と遊んでいるかのような動きは、ずっと見ても飽きません。



10月のイベント



お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで(0153-25-3047)

フィールドボランティア説明会

日時 10月1日(日) 10:00~15:00
対象 高校生以上 20名
申込 9月28日(木)まで
参加費 1000円/1人(保険・資料代として)
概要 「風蓮湖・春国岱」をフィールドにボランティア活動をしませんか?
活動の内容や、フィールドをレンジャーがご紹介します。特別な知識や経験は必要ありません。自然にほんの少し興味があるという方でも、お気軽にどうぞ。

ボランティアへの登録は、説明会の後日でもお決めいただけます。

ネイチャーセンター祭り

日時 10月15日(日) 10:00~15:00
対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
申込 不用
参加費 1000円/1人(保険・資料代として)
概要 ネイチャーセンターで一日中楽しもう! ボランティアグループ「スंक」が楽しいプログラムを用意して皆様のご来館をお待ちしています。

10:00-11:30 ネイチャークラフト
12:40-12:55 紙芝居
13:00-15:00 ネイチャーゲーム

(12:00-13:00 まで休憩場所もご用意します。)

フィールドボランティアの活動報告

風蓮湖・春国岱フィールド講座

ふれよう干潟 知ろう「谷津干潟」

8 / 13

1993年に、ラムサール条約登録湿地となった千葉県習志野市の「谷津干潟」。ここには、市立の谷津干潟自然観察センターがあります。

登録湿地の先輩である「谷津干潟」の取り組み、外から見た風蓮湖・春国岱の魅力を知るために、日本野鳥の会 谷津干潟担当の芝原達也レンジャーを招き、「干潟」の観察会を実施し、同センターの取り組みを紹介していただきました。

同センターでは、「自然の大切さを多くの人に伝えるには、意思ある市民の参加と協力が不可欠」と考え、ボランティアを募り、現在約140名が登録しています。紙芝居の上演、数種の月例イベント、館内解説、展示作成などの様々



講師：芝原達也レンジャー
(日本野鳥の会 谷津干潟担当)



なメニューが、ボランティアにより活発に行われています。個人が興味にあわせて、活動できるシステムがあり、ボランティアが活動しながら、発展させていったメニューのあることなどが紹介されました。

また、「干潟」では、びっしりと敷きしきつめられた、水草のコアマモを観察し、「東京湾では見ることのできない密度」であることを伝えるなど、外からみた風蓮湖・春国岱の特徴を伝えていただきました。

海の生き物探しにいこう 7 / 28

春国岱に隣接する干潟と磯場で、親子の参加者をむかえ、海の生き物を探すイベントを行いました。

スタッフとして、レンジャーの他、フィールドボランティアの4名が、安全管理、時間管理、観察補助などを担当してくださいました。1週間ほど前に、事前下見と打ち合わせを行い、当日、観察できそうな生き物たちを探したり、子供にとって危ないところがないかの確認などを行い、当日に備えました。

当日は、晴天に恵まれ、多くの海の生き物が見つかり、参加者からは「魚とかいっぱいいて楽しかった」などの声が聞かれました。また、初めてイベントスタッフとして関わったフィールドボランティアからは、「子供たちの楽しそうな顔が見れて良かった」などの感想があり、今後よりよいイベントにするための意見交換も行われました。



あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか

フィールドボランティア説明会 10 / 1開催（詳細は1ページを参照）

ネイチャーセンターでは、フィールドボランティアを募集しています。

自然の好きな方、子供が好きな方お待ちしております。説明会に参加はできなくとも、ご興味のある方などいらっしゃれば、随時、ネイチャーセンターのレンジャーにお問い合わせください。



自然情報 * 9月*

この時期には、蚊が多く発生します。
虫除け対策をして散策してください。



蚊が多く発生します
虫除け対策をお忘れなく

アジサシ

秋の渡りの時で海辺にやってきます。エサの小魚を捕まえるために空から海にダイビングします。干潮時には、干潟に降りている事も。



ハヤブサ

風蓮湖の周りや海岸でハヤブサを見かけるようになります。オオタカやチュウヒ等の猛禽も秋の渡りの季節です。



オナガガモ

秋の渡りでオナガガモやヒドリガモ等カモ達が湖にやってきます。湖が凍る頃にはさらに南へ渡っていきます。



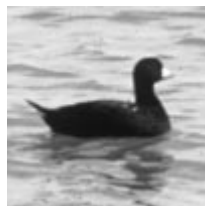
シギ・チドリ

越冬地へ向かう途中のシギ・チドリの仲間が春国岱で羽を休めています。メダイチドリ、トウネン、キアシシギ、チュウシャクシギなど。



クロガモ

海の上にはクロガモやピロードキンクロなど海ガモ類が見られるようになります。



アッケシソウ

花はリンドウやウラギクなど秋の花が咲き、塩性湿地ではアッケシソウが赤く色づき始めます。



センターでは双眼鏡の無料貸出をしています
どうぞお気軽にご利用ください

8月中旬、春国岱の対岸にある、走古丹(ハシリコタン)の先端部に行きました。シギやチドリの仲間を見つけに行くと、彼らに出会うことができただけでなく、他の海の生き物を見つけることができました。

先端部から、双眼鏡を使って風蓮湖を見てみると、湖からぼっこり顔をだすゴマフアザラシを見つけました。しばらくすると、水にもぐり姿を消してしまったので、また顔をだすのを待ちながら、その周りを探してみると、潮が引いた浅瀬に数頭のアザラシが群れで寝そべっているのに気づきました。お尻と、頭をピョンとあげて、約30頭が重なり合うように寝そべっていました。

いつもより暑い今年の根室の夏、穏やかな風が気持ちのよい風が吹いていました。



メール配信のお願い

郵送費削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム

(0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

~ 雑学クイズ ~

今月の表紙にもなっている
ミュビシギ。

他にも足の指が3本なので
『ミュビ』とつく鳥がいます。
本当にいるのはどれでしょう？

ミュビガモ

カモの仲間

ミュビチドリ

チドリの仲間

ミュビゲラ

キツキの仲間

答えは右側

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

H P http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

9月の開館時間 9:00~17:00(9月まではこの時間で開館)

9月の休館日 6・13・19・20・25・27日

